

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月30日

事業所名 こっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7人		移転し明るく広くなった。	空間分けは工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切である	7人			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3人	4人	車いすでも、自由に動ける空間になっている。	活動する(動の動き)と食事や休息など(静の動き)の場所が共有されているので、場所の使い方や情報の伝達等は改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3人	3人	常に換気を行ったり、清掃やアルコール消毒を行い清潔を保っている。	活動(動と静)が一緒になっている。空間の使い方、おもちゃの選別を行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2人	4人	業務改善の話し合いは行うことができている。	意識はあるか、目標設定があいまいになってしまう。定期的なミーティングを行い、何度も繰り返していきながら全員で取り組めるようにしていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4人	2人		スタッフの顔写真紹介等を作成予定。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5人	1人		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6人		会社内で、他部署との話し合いで業務改善行っている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6人		毎月研修開催。参加できない人には、後日動画で受講し全員受けている。	専門的な勉強会を他事業所と一緒に行っていく予定。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4人	2人		必要に応じて、アセスメントの取り直しをしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4人	2人		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5人	1人		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3人	3人		全員での把握ができていない。その都度、全員で支援計画を把握していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6人		全員で立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6人		外出や地域活動を定期的に取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4人	2人		個別支援の共有する時間を作る。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5人	1人		送迎に入ってしまうと共有できていない時がある。申し送り時間の変更をしてみる。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6人			翌日の朝のミーティングで行っている。出席できない方は、必ずノートを確認するように徹底していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4人	2人		記録は行っているが、全員での共有が不十分。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5人	1人		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4人	2人		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3人	3人		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5人	1人		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6人			年1回の指示書をもっている。 母を通して連携できている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6人			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5人	1人	送迎時に情報共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5人	1人		全員で共有できていない部分がある。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6人		こども園と交流している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1人	5人		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6人			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		6人		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6人			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6人			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5人	1人	送迎時に行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2人	4人		今年度計画している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6人			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6人			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6人			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4人	2人		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6人		今年度予定している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6人			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6人			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5人	1人		看護師を中心に、予防接種も確認していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6人			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6人			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6人			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6人			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 こっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7人				空間分けは、工夫が必要
	2	職員の配置数は適切である	2人	3人	1人		急な休みがある時には、困る時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	5人	1人		スロープや手すりがあり、車いすの子は、自由に動くことができる。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる		5人	1人		振り返りを細かく行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている		5人	1人		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	2人	4人			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			6人	会社内の他部署と話し合って改善に繋げている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6人			参加できない人も後日受けることができる。	
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している		6人			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している		6人			
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6人			全員で意見をだしあっている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3人	3人		動と静のプログラムが連続しないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3人	3人		プログラムを変えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	1人	5人			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している		6人			打合せは行っているが、全員で共有できていないところがある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している		6人			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	1人	5人			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	3人	3人				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている		6人				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	2人	4人		児発管が参加し ている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4人	2人			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	3人	3人		その年に主治医 の指示書をもらっ ている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	1人	5人		会議で情報共有 している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2人	4人			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		6人			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		6人			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			6人		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6人			連絡帳や送迎時 に話している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		6人			
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6人				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6人				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		6人			今年度計画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6人				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している		6人			
	35	個人情報に十分注意している	6人				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6人				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			6人		今年度予定している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6人				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6人				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6人				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6人				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6人				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6人				